

持続可能な社会づくりのための環境学習活動



東京学芸大学は、平成17年から「持続可能な社会づくりのための環境学習活動～多摩川バイオリージョンにおけるエコミュージアムの展開～」をテーマに教育プロジェクトを展開しています。これは文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラムに採択されたものです。「多摩川エコモーション」と名付けたこのプロジェクトでは、首都圏の様々な地域で学芸大学の学生が地域の人たちと協力しながら、授業を通じて地域課題の学習活動を行います。環境保全・持続的な社会づくり、そして地域活性化に貢献するのがこの教育プロジェクトのねらいです。今回のシンポジウムはその一環として行われるものです。大学の学生・教職員はじめ、地域のみなさんご参加をお待ちしています。

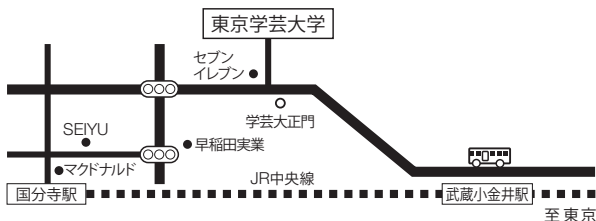
11月17日[土]

東京学芸大学 講義棟(S410ほか4階全フロア)、
環境教育実践施設多目的室、彩色園など

シンポジウム プログラム

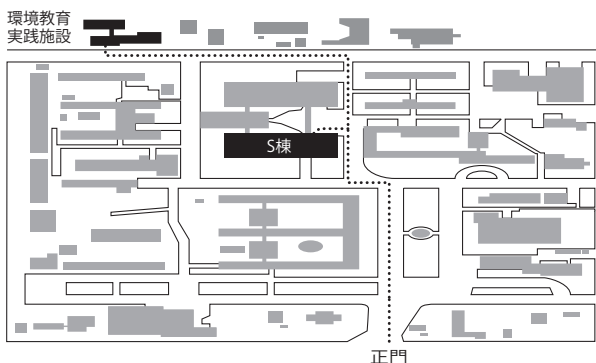
- 10:00 ●開会の挨拶
実行委員長／古橋源六郎(財団法人森とむらの会会長)
東京学芸大学地域と連携した環境学習推進委員長／村松泰子(東京学芸大学副学長)
山梨県小菅村長／廣瀬文夫(全国源流の郷協議会会長)
- 全体会1
1.シンポジウムの趣旨説明 木俣美樹男(東京学芸大学教授)
2.多摩川をめぐるエコミュージアム活動の現場からの話題提供
・「野川と市民活動」…平井正風(小金井市環境市民会議代表)
・「子どもと大人、まちとむらをつなぐ環境情報の学習ツール」
…大前純一(NPO法人エコプラス理事)
・「多摩川を生かした中・下流域のまちづくり」
…横山十四男(狛江水辺の楽校運営協議会会長)
・「多摩川源流大学の現状と今後」…宮林茂幸(東京農業大学教授)
- 12:00 ●展示
個人や団体の活動や研究をポスターなどで展示発表し、人々の出会いと活動経験を交流する。(展示申し込みは10月15日まで)
- 13:30 ●分科会
多摩川の自然をめぐる展開されているいろいろな文化活動の経験を交流し、じっくり話し合います。
- 分科会1 ●多摩川流域の生き物と川遊び
[報告者]…柴田隆行(多摩川の自然を守る会代表)
川や川原での遊び、河川敷の利用の仕方、多摩川流域で生きる生物やこれらめぐる生物文化多様性の保全、外来生物の制御などについて話し合います。
- 分科会2 ●山村の暮らしとむらづくり
[報告者]…土肥英生(NPO法人グリーンネックレス代表)
農林水産業をめぐる山村の生活について経済の実情をふまえて話し合います。
- 分科会3 ●多摩川流域のまちづくり
[報告者]…神谷博(法政大学講師)
環境保全、災害防止、景観を考えたまちづくりについて体験に基づいて考えます。
- 分科会4 ●エコミュージアム・ネットワークづくり
[報告者]…本木紀彰(川崎市まちづくり局市街地開発部長、小杉駅周辺総合整備推進室長)
多摩川流域住民や市民活動団体の連携、エコミュージアム活動の協働組織づくりについて話し合います。
- 16:30 ●全体会2
各分科会のまとめ報告を聞いて総合的な話し合いをします。
- 17:30 ●交流会
食べ物、飲み物持ち寄り、大歓迎です。

東京学芸大学までのアクセス



1. JR中央線「武蔵小金井駅」下車北口改札前より
京王バス「小平団地行き」学芸大正門下車
2. JR中央線「国分寺駅」下車北口より徒歩約15分

構内地図



◎テント村

学内外の学生向けに、16、17、18日はテント村を設営予定。
(広域避難所体験を兼ねて) ※詳細は別紙チラシを参照

[協賛] 山梨県小菅村、小菅村教育委員会、(財)水と緑と大地の公社、多摩川源流研究所、小菅村観光協会、小菅村商工会、100%自然塾、小菅村エコセラピー研究会、小金もち工房、(特)カッセKOGANEI市民起業サポートセンター、(特)ミューゼタグリ、小金井市環境市民会議、とうきゅう環境浄化財団、(財)森とむらの会、(財)森林文化協会、(社)国土緑化推進機構、(特)全国水環境交流会、(特)多摩川エコミュージアム、(特)環境文明21、(特)ECOPLUS、(特)自然文化誌研究会、北都留森林組合、(特)環境文化のための対話研究所、日本たばこ産業(株)(2009年3月未だ協賛名義使用の承認)

[後援(予定)] 日本エコミュージアム研究会、農水省、環境省関東地方環境事務所、国土交通省京浜川事務所、東京都、山梨県、昭島市、あきる野市、稲城市、青梅市、大田区、奥多摩町、川崎市、国立市、甲州市、小金井市、国分寺市、小平市、狛江市、世田谷区、立川市、丹波山村、多摩市、調布市、八王子市、羽村市、日野市、日の出町、松原村、府中市、福生市、瑞穂町、三鷹市、武蔵野市、武蔵村山市

申し込み用紙 <締切日> 11月15日(木)

必要事項をご記入の上、本紙をそのまま送信してください。

FAX : 042-329-7669

お名前

ご所属

ご連絡先(電話番号またはE-mail)

Eメールでのお申し込みも受け付けております。上記の内容をご記入のうえ、tama-eco@u-gakugei.ac.jp 宛にご送信ください。

[個人情報の取扱いについて] お客様からご提供いただいた個人情報(住所・氏名・電話番号・E-mailアドレスなど)は、「多摩川エコモーション事務局からのお知らせ」以外には使用いたしません。

【お問合せ】 東京学芸大学 現代GP多摩川エコモーション事務局

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学 環境教育実践施設内
TEL.042-329-7862 / 7861 FAX.042-329-7669 <http://www.fsifee.u-gakugei.ac.jp/gp/>



学芸大生がひらく
多摩川エコモーション